

「第48回みどりをまもる小学生作文コンクール」開催案内

1. 趣 旨

本コンクールは、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、農業の重要性を広く周知することを目的として実施します。

本コンクールの優秀作品は、第51回「ごはん・お米とわたし」作文全国コンクールへ推薦します。

2. 募集要領

(1) 内容

ごはん・お米に関する思い出や「自然」「田植え」「イネ刈り」等、農業や自然に関係のあることや考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

(2) 応募にあたって

① 応募規格、枚数

- 小学1年生～3年生（400字詰め市販原稿用紙 2枚以内）
- 小学4年生～6年生（400字詰め市販原稿用紙 3枚以内）
- ※ 他のコンテストに応募していない作品に限ります。

② 応募用紙

作品には、1点ごとに下記の事項を記入した別紙用紙（応募チラシ）を添付してください。

- 作品題名（ふりがな）
- 氏名（漢字とふりがな）、性別
- 学校名、学年、組、指導先生名
- 学校の所在地、または自宅住所、連絡先

学校ごとに、各学年の応募作品数を記入した応募一覧を添付してください

(3) 送付宛先

J Aしまね（支店・女性部）へ送付ください。その後当該地区本部を通してJ Aしまね女性部事務局へ送付致します。

(4) 締切日

令和8年9月15日（火）J Aしまね女性部（J Aしまね本店内）必着。

(5) 審 査

審査は別に定める審査委員会で実施します。

(6) その他

- 応募は島根県内小学生に限ります。
- このコンクールに応募いただいた作品の中で優秀なものについて、J A全中が実施している「『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」募集要領に該当する作品は、これに応募します。
- 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害がある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募用紙の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。
- ご提供いただいた個人情報は本作文コンクールならびにJ A全中が実施している「『ごはん・お米とわたし』作文・図画コンクール」のために必要な範囲内のみで使用します。
- 入賞者については、新聞・TV・J A広報誌・J Aしまね、およびJ Aしまね女性部のホームページで、氏名・学校・作品題名・作品などを報道もしくは、掲載します。

3. 入賞について

(1) 賞

特別賞、金賞、銀賞、銅賞、佳作

なお、特別賞は次の賞とします。

- | | |
|---|----------------|
| { | 島根県知事賞 |
| | 島根県教育委員会教育長賞 |
| | 島根県農業協同組合中央会長賞 |
| | 島根県農業協同組合長賞 |
| | J Aしまね女性部長賞 |

(2) 応募者記念品

応募者全員に、島根県内の農産品・加工品等をプレゼントします。

(3) 審査日および入賞者の発表

審査終了後（11月中旬）、応募小学校に連絡いたします。

なお、著作権はJ Aしまね女性部に所属し、やむを得ない場合を除き、原則、原稿は応募小学校へ返還します。

4. 主催・後援

- 主催

J Aしまね女性部

- 後援

島根県／島根県教育委員会／島根県農業協同組合中央会／島根県農業協同組合

5. 問い合わせ先

J Aしまね本店 総務部ふれあい広報課内 J Aしまね女性部事務局

〒690-0887 松江市殿町19-1 島根 J Aビル

Tel : 0852-67-7704

Fax : 0852-67-7708

E-mail: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

みどりをまもる小学生作文コンクール審査基準

募集要領の趣旨により、小学生らしい内容面で	60%
文章表現	15%
表記	10%
感銘度	15%

1. 内 容

趣旨・・・児童が自然、環境、農業、食料、地域行事等に関心を抱くことをねらいとしている。

- (1) 趣旨にあった題材、主題を取り上げ、真実な態度でこれを表現しようとしているか。
- (2) 生活の中から良い題材を見つけ出し、それについてよく見つめて考えているか。
- (3) 正しく広い立場に立った見方、考え方、感じ方がなされているか。
- (4) その子らしい個性的な見方・考え方・感じ方をし、率直に述べているか。

2. 文章表現

- (1) 主題（書きたいこと）がはっきりとしているか。
文章全体で統一されているか。
- (2) 正確で適切な語句が用いられているか。
- (3) 構想、段落は効果的にたてられているか。（書き出しと結び）
- (4) 文章の展開はなだらかに行われているか。（接続する語句、指示する語）

3. 表 記

- (1) 漢字、かなが正しく書けているか。
- (2) 送りがなが正しく書けているか。
- (3) 句読点、かぎなどのくぎり符号が適切に用いられているか。
- (4) 書式のきまり、原稿用紙の使い方などに正しく従っているか。
- (5)

4. 感 銘 度

- (1) 読み手の心に残るような内容、表現であるか。